



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ● 副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ● 会報委員長 小林 浩太郎

第2971回例会 (令和7年1月20日)



ホームページQR

【第1回 米山功労賞感謝状授与】

- ◆ 織 英子さん
- ◆ 柳澤雄次郎さん



【会長挨拶】

金子 良夫 会長



本日は、新年第1回目の例会です。最初ですから「新年明けましておめでとうございます」と冒頭に挨拶すべきかどうか迷ったのですが、新年の挨拶は、関東では7日まで、関西は15日までとされています。それを過ぎるとどう言うべきか、「本年もどうぞよろしく願いたします」でいいとのことでした。それでは改めて「本年もどうぞよろしく願いたします。」

【慶祝】

お誕生月 4名

- 織 英子さん
- 藤森幸路さん
- 宮川 泰さん
- 矢島康夫さん



結婚記念月 2名

- 酒巻 弘さん
- 木本 昂さん



事業創立記念月 6名

- 内河 利夫さん
- 金子 良夫さん
- 小林浩太郎さん
- 小山 宏幸さん
- 島田甲子雄さん
- 湯田 勝己さん



【米山奨学生 金セハさんへ奨学金の授与】

米山奨学生 金セハさん



さて、新年早々にご不幸のお知らせが続きます。上田信用金庫の春原さんのご母堂様、元会員の安齋晃徳さんがお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表します。

今日は、安齋晃徳君のお話をさせてください。安齋君は12日に自宅でお亡くなりになりました。享年64才でした。

当クラブへの入会は、私より1年早く、平成15年と記憶しています。私とは同年代ですし、彼は日大松戸歯学部で同級生だった奥さんに引張られ福島県郡山市から上田に来たこともあり、お互い県外出身者というのあり大変親しくお付き合いさせられました。東郷堂の鈴木さんが会長だった時に、彼が親睦委員長、私が副委員長でした。東近江クラブをお迎えした年でした。松茸山二幸園で彼の奥様も来て賑やかに過ごしたことが懐かしいです。

お互い40代の頃は、クラブの若い会員たちで長野の権堂まで行って良く飲み歩きました。日本酒の会にも顔をよく出してくれていました。彼は本当に付き合いが良い人でした。袋町でもよく一緒しました。

またパソコン等の機械にも強く、クラブのパソコン関係は彼の手によるものでした。昔の会報の出稿スタイルも彼の考案でした。

2年前、体調を崩され退会されました。ずいぶん慰留しましたができませんでした。私が彼と話したのは、ささやで最後に開催されたクリスマス会の時でした。「辞めるな、何時でも待ってるからね」と話をしました。

亡くなった12日、青年会議所新年会がありました。新年会がはねた後、クラブメンバー四人で締めラーメンを食べながら、「そろそろ安齋さんを再びクラブに迎えに行こうと思っている」と話しました。まさかその日に亡くなっていたとは思いませんでした。

私は「長幼の序」を大事にしています。安齋君はクラブでの直近の先輩です。私は彼がクラブに在籍していたならば、彼よりも先には会長を受けませんでした。ですから、本来は今日ここで挨拶しているべきは、私ではなく本当は安齋君だったのです。訃報に接してとても哀しいです。安齋君のご冥福をお祈りします。

[会員卓話]

年男・年女に聞く

● 関啓治さん

83歳 5カ月 昭和16年8月7日生
己巳(つちのとみ)年生



本年7回目の干支(巳年)を迎えました。“めでたさも 中ぐらいなり おらが春”と小林一茶は詠みましたが、心境は同じです。この年になると毎朝、新聞の最初に目を通すのは“おくやみ”欄です。多くの友人や知人、又長く親しくしていた患者さん等々が鬼籍入りご冥福を祈りつつ合掌いたします。又ある人は、年齢により、正常な思考が衰えて、介護施設などにお世話になる人、家で家族の介護を受ける人等々、友に会いたいと申し出ても家族から拒絶されます。なりたくてなる人はいないけれど、やはり、年齢がそうなるものと思います。

人生の各年代(ライフサイクル)を4つのステージからなることを知りました。青春・朱夏・白秋・玄冬に分けられると言われます。人生を時の流れを季節と色で表しております。

青春 16歳～30歳ごろ 朱夏 30歳～50歳ごろ
白秋 50歳～60歳後半 玄冬 60歳～終生

このステージを己が身におきかえる。

「青春」 論語にあるように“学に志し”結婚、子供の誕生等、経済的に厳しかったが思い出としては素晴らしく懐かしい時代でありました。

「朱夏」 18歳で上京して、16年後、32歳で妻と二人の息子とともに帰郷し歯科医院を創業して、患者さんにも恵まれ毎日が充実した日々でした。今はありませんが、毎年5月に新聞紙上に長者番付として名を連ねることが出来ました。当時は銀行返済と納税に四苦八苦の時代。よくやって来たなあと自分を褒めてやりたいと思います。

「白秋」 三人の子供たちは医科・歯科・内科医としてそれぞれ開業しており、それぞれ結婚して6人の孫に恵まれました。孫も頭は今春医大を卒業して慶応病院で研修が約束されております。次男は歯科医として帰郷して私の仕事を継承してくれました。多くの仕事に恵まれ頑張っています。

「玄冬」 今や人生の最終章、時間に余裕が出来、この日に備えて子供たちに迷惑をかけない程度の小金があり、夫婦共に元気なので苦勞をかけたカミさんには罪ほろぼしのつもりで、少しは勞を犒うつもりで、国内・海外の旅行を企画計画して、いざ実行に移そうとしていた矢先あのパンデミックが全世界を揺るがす感染症“新型コロナ”に巻き込まれました。何もすることが出来ずひたすら家に籠る四年間でありました。やっと病気が治るころには後期高齢者となっており、時すでに遅く私の体調は年齢相応に衰えて来ており長い旅行にはたえられない身体に気付かされました。恨みは深い新型コロナであります。

さて、私の12年後の8回目の干支は西暦2037年、令和19年に訪れます。この年になる事は数字的に“たし算”で算出出来ますが、実際に人間らしく生きる事は身も心も健康でなければ、生きる屍となつては、人間の尊厳を失つては、生きる価値がありません。実際にこの年までは生きる事はあり得ません、けれども、私にとっては、今ほどこんな良い時代は一刻でも長く享受したいものと考えております。あの世とやらは、両親や親しい知り合いなどがいっぱいいて、一緒に酒でも飲もうと首を長くして待っていてくれるものと思います。

● 柳澤日出男さん

「1965年(乙巳・きのとみ)生まれ
の人の基本的な性格」



◆ 前向きで思いついたら即行動

乙(きのと)の性質を持った人です。乙(きのと)は「木」を表しますが、中でも「草花」のような小さな花にたとえられます。野辺に咲く花のような親しみやすさと愛嬌がありながら、強いエネルギーを内に秘めた人。外見もオシャレで華やかなタイプが多いでしょう。

基本的にポジティブで活動的です。チャレンジ精神が旺盛で、思いついたらさっと行動します。事前にあれこれと計画を立てるよりは、思い切って「えいっ」と飛び込む人が多いでしょう。そのため小さなミスも起きやすいものの、起きてしまったことに対して深くは悩みません。

行動はあくまでもスピーディですが、周囲と足並みをそろえる協調性の高さも持ち合わせています。自然と気を配れるので周りの空気が穏やかになるでしょう。アクティブさと柔軟さを兼ね備えた人気者です。

◆ 頭の回転が速く努力家

巳(へび)年特有の、頭の回転の速さも持っています。物事を理解するスピードが早いので、複雑なことでもすぐにかみ砕いて自分のものにしてしまいます。理解すると即座に行動にうつすため、周囲からは「頼りになる人」という印象を持たれるでしょう。

現実主義者です。あまり感情には流されず、大きな夢を追いかけるよりも自分の身の丈に合った着実な道を進むタイプですから知識やスキルを得たらすぐに具体的

なアクションにうつし、着実に目標をクリアしていきます。

柔軟で物事のバランスをとる能力にも恵まれています。力を入れる場面と抜く場面をよく見極めていて、ここぞという場面に力を発揮。そうでない時は上手に休めるので、息切れせずどんなことも長く頑張れるのです。本人としてはそれほど努力しているつもりはありませんが、「粘り強い人」と思われることが多いでしょう。

◆独自の美的センスを持つ

乙(きのと)は「おしゃれで気が利いている様子」という意味もあります。加えてもともと低い音階を表す乙は、正統のものとは少し違う面白さを指す言葉。どちらかという直感型で、ビビッとひらめきが舞い降りてくるタイプ。感受性が強く独特のセンスがあります。

他の人には思いつかないような発想をすることも多いでしょう。たとえば周囲とは笑うポイントが違っていたり、他の人が気に留めないようなことに気がついたり、時々不思議な発言をして周囲からは「天然」と思われる場面があるかもしれません。そんな気質が高じて、芸術・芸能関係で力を発揮する人も少なくありません。行動力にあふれていて、アイデアを素早く形にする能力にも恵まれています。ただし「不思議な人」と思われるのはストレスで、そのため自分の感性を積極的にアピールすることはありません。

◆思ったことは素直に伝える

まわりくどい話し方をあまり好みません。まっすぐな性格で、思ったことはストレートに伝えるタイプ。良いことも悪いことも、比較的素直に口にします。また少し短気で、早々に結論を出してしまうところもあります。

本当なら敵を作りがちな性格ですが、親しみやすいキャラクターや、気配り上手な点があまく、そういった点をカバーし、トラブルにはなりにくいでしょう。自分に非があったら正直に謝る潔さもあるので、さっぱりした人柄として周囲からは愛されます。ただし親しい相手に対しては真逆。相手に嫌われたらどうしよう、と考えすぎるあまり本音が言えない場面も多いようです。本当に大切な人に対しては驚くほどの不器用さがみられる人といえるでしょう。特に異性に対しては自分の気持ちが伝えられず、葛藤する場面が多いかもしれません。

可憐な草花。雑草のようなたくましさを持つ一方で、繊細な一面も持ち合わせています。そのため一見図太く細かいことは気にしないように見えますが、実は内面では悩みを抱えていることも。やや精神的に不安定なところがあります。

◆実は結構デリケート

感受性は人一倍鋭く、他の人が気にならないような小さなことが気になる場合も。この繊細さが人付き合いにおいては良い方に働き、さりげなく気を配れる長所として表れます。相手の立場に立った発言、周りの空気が

良くなるような言葉選びができるでしょう。ただ周囲の目を気にするあまり相手に気を使いすぎる場面も。自分ではYESと思っていないのに、つい相手に同意してしまうこともあるでしょう。また無意識に自分と同レベルの気配りを求めてしまいイライラしがちです。他人と比較せずに自分の意志を大切にすることを意識すると、魅力はさらにアップするでしょう。

●土屋勝浩さん

年男ということで卓話の機会をいただきましたが、今年で60歳を迎えることとなりました。年男、還暦に加え前厄までおまけに付いてくる巡り合わせとなっております。素直に喜んでいいのか分からない複雑な気持ちでおります。



とりわけ還暦は、ひと昔前までは定年で仕事を引退する年であり、お祝いの対象となっていました。まだまだ頭も体も十分働いていますので、今後もロータリー活動を含め社会に貢献していかなければならないと考えています。今でも赤い「ちゃんちゃんこ」が贈られる風習が続いているのかは分かりませんが、少なくとも家族からそのようなものを贈られた場合はそのまま返品するつもりでおります。ただ、誕生日については「土屋勝浩生誕60周年記念祭」として盛大に行っていただきたいと思っています。その為にも、家族との関係は良好にしておきたいと思っています。

また、孔子は論語の中で還暦になった時の自分を振り返って、「六十にして耳従う」と表現しています。孔子は紀元前479年に74歳で亡くなったわけですが、当時としてはかなり長生きの部類に入ります。その孔子ですら六十歳にしてようやく他人の言葉に素直に耳を傾けられるようになったと言っているのですから、今年は私も自己主張は控えて他人の意見を尊重できるような生き方を心がけていきたいと思っています。

そして年男の話に戻りますが、年男とは神様のご加護を多く受けられる年として、大変縁起がいいとされてきました。今年の干支は「巳」。蛇は脱皮を繰り返しながら成長することから、古くから新しいことに挑戦するには最適な年といわれてきました。

じゃあお前は何にチャレンジするのかと聞かれそうですが、何かを成し遂げる人のタイプとして2種類あると言われていました。ひとつが目標を立ててひたすらそれに向かって突き進む「目標達成型」。もうひとつが今任されている仕事を一生懸命やり遂げる、その先に天から次の命が下りてくるという「天命成就型」です。私は自分を後者のタイプの人間だと思っていますので、積極的に何かを変えようという考えは持たず、現在の仕事である市議会議員、市の監査委員、所属する会派の代表、更に今年は自治会の役員も仰せつかっておりますので、ひたすら与えられた役割を全うできるよう努力して参りたいと思っています。

また、皆さんも信毎の記事でご存じの方もいらっしゃると思いますが、昨年、塩田にある戦没画学生の作品を展示した「無言館」の運営を私の母校であります立命館大学が支援することになりました。大学の持つ国際平和ミュージアムという美術館で25年前から作品の一部を展示させていただいているというご縁によるもので、新しく副館長には樹木希林さんと内田裕也さんの娘である内田也哉子さんが就任されることも決まりました。実は私も2年前から立命館大学の長野県校友会会長を仰せつかっておりまして、校友会としても協力を進めているところでもあります。上田市も今年「非核平和都市宣言」から15周年ということで、平和記念事業として広島の平和記念公園から分けてもらった灯を納めるモニュメントの設置を予定しております。同じ平和を希求する立場として、上田市と立命館大学の連携を深められる立場にありますので、無言館とコラボしながら世界に平和へのメッセージが送れるよう働きかけを行なっていきたいと思っています。まさに絶好のタイミングで大切な役割が下りてくる、それも天命だと感じています。

また、プライベートでは今年ぜひ佐賀県に行ってみたいと思っています。佐賀県の中に特別行きたい場所があるというわけではありませんが、実は、47都道府県でまだ1回も宿泊したことのない県を探してみますと、残すは佐賀県のみとなっていました。矢島元会長の泊まるような有名な宿でなくていいので、何とか60歳になるまでにコンプリートしてみたいと思います。

合わせて、人生の後半戦のスタートとして健康に気をつけた1年にしたいとも考えています。コロナ禍の令和3年に人間ドックを受けた際は、項目の全てでA又はBの好判定でありました。これも謹慎生活の効果というわけですが、悲しいかな宴会が元に戻ると一気に数値が悪化しました。とりわけクレアチニンの数値が高いと言われ続けており、かかりつけ医からは、これ以上悪くなると人工透析の必要も出てくると脅されています。60歳の区切りの年くらいは健康に配慮して大人しくしたいと思っていますので、皆さん夜の誘惑は控えめにお願いします。

[幹事報告]

酒巻 弘 幹事

1. 米山奨学会

ハイライトよねやま 8号

2. 地区事務所

2024-25年度下期普通寄付金のお願い

2025-26年度地区補助金申請の手順について

3. 上田青年会議所 年忘れ宴の御礼状

4. MANABI外語学院 第20回MANABI祭のご案内

5. 会報恵送 東近江RC



[ニコニコBOX]

佐藤 倫 委員

飯島幸宏さん 石井懋人さん 出田行徳さん 伊藤典夫さん 小熊直人さん 織英子さん 金子良夫さん 上島孝雄さん 北村修一さん 木本昂さん 窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん 小林浩太郎さん 小林秀茂さん 小松佳樹さん 小山宏幸さん 斉藤達也さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 佐藤倫さん 滋野真さん 島田甲子雄さん 島田太一さん 関啓治さん 関勇治さん 竹田和徳さん 田中克明さん 田邊利江子さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん 成澤厚さん 藤森幸路さん 布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 宮川泰さん 矢島康夫さん 柳澤雄次郎さん 横沢泰男さん



本日喜投額 39名 ￥ 78,000

累計 ￥1,081,500

[例会の記録]

司会：保科 茂久 会場・出席委員長

斉唱：国歌・ロータリーソング

- 米山功労賞感謝状授与
- 慶祝 ●米山奨学生 金セハさんへ奨学金の授与
- 会長挨拶 ●幹事報告 ●会員卓話 「年男・年女に聞く」

[ラッキー賞]

- 保科茂久さん(佐藤 倫さんより とらやの羊羹)
- 木本 昂さん(滋野 真さんより 雪中梅)
- 上島孝雄さん(金子良夫さんより とらやの羊羹)
- 三井英和さん(金子良夫さんより とらやの羊羹)
- 金子良夫さん(藤森幸路さんより

ガトーフェスタハラダ冬季限定ラスク)

横沢泰男さん(林 秀樹さんより

豊島園土産ハリーポッターのお菓子)



[出席報告]

保科 茂久 委員長



| | 本日 | 前々回(12/23) |
|-------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 会 員 数 | 53 | 53 |
| 出席ベース | 53 | 51 |
| 出席者数 | 44 <small>コロナ欠席0</small> | 37 |
| 出席免除(b) ()内は出席者数 | 4(4) | 4(2) |
| メイクアップ ()内はMake up後 | | 3(40) <small>コロナ欠席1</small> |
| 出席率 | 83.01 | 80.39 |

[次回例会予定]

2月3日(月) 慶祝

「ロータリーの友」紹介

(1月27日発行)

[会報担当] 藤森 幸路 会報委員